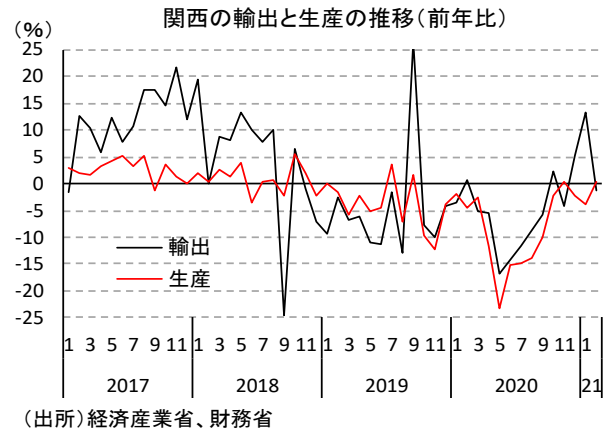
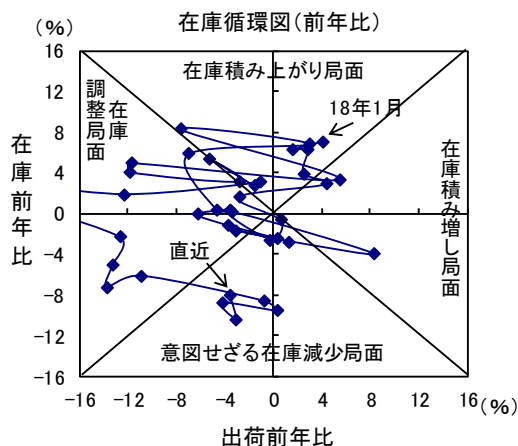
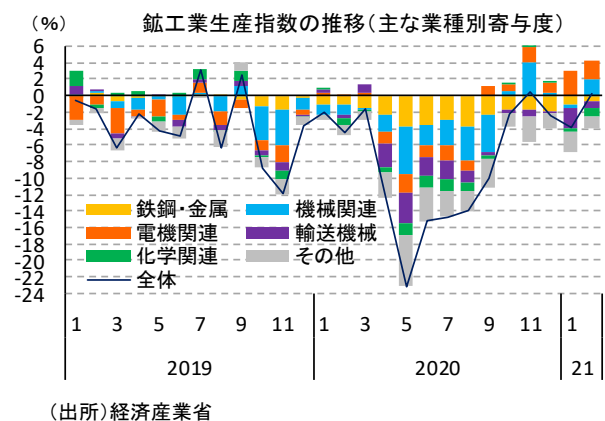
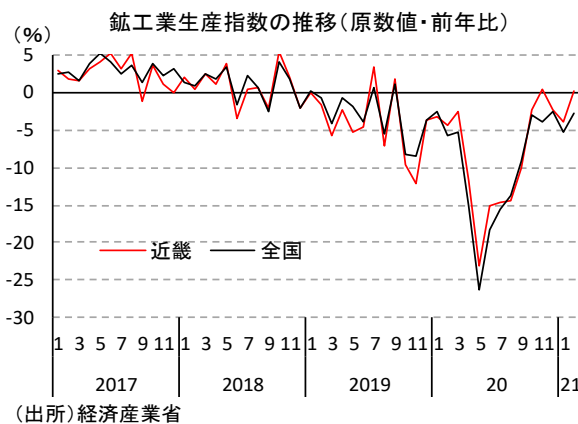


関西の景気トピックス【鉱工業指数（21年2月）】

- 21年2月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で0.3%増と、3か月ぶりの増加となった。業種別の推移では、輸送用機械の減少は続いているものの、電子部品を中心とした電機関連が好調に推移し、全体を牽引する形となった。
- 在庫循環の動きをみると、今月も前月と同様に、出荷を抑制しても在庫の減少が進むという、「意図せざる在庫減少局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性が存在する。直近の傾向としては、概ね5月を底にした回復傾向が進んでいるとみられる。今後については、自動車は減産が続く可能性は高いものの、世界的なリモート需要や5G関連需要を背景に、電子部品や電機関連は好調な推移が予想される。それに伴い、輸出の増加と連動する形で、生産も増加基調が続くことが期待される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。